

# がれき受け入れで伊賀南部

## 正副管理者で対応検討

県議会は十二日、総務地域連携、環境生活農林水産、教育警察の各常任委員会と予算決算常任委員会分科会を開いた。環境生活部関係の所管事項の調査の中で、県は、岩手県久慈市の震災がれきの受け入れについて、久保行央多気町長が十一月十六日に鈴木英敬知事に対して受け入れ断念を報告したと説明。受け入れを検討中の、亀井利克名張市長が管理者を務める伊賀南部環境衛生組合についても、副管理者の伊賀市長が市長選で受け入れ反対を表明している岡本栄氏に交代した件で、県は「正副管理者が話して対応を検討する。県から説明する機会があると思う」とした。

### 県議会常任委・予決常任委分科会

〈環境生活農林水産Ⅱ村  
林聡委員長、九人〉  
環境生活部関係の常任委  
と予算決算常任委分科会を  
開き、本年度一般会計補正  
予算案を全会一致で可決す  
べきとした。

震災がれきの受け入れに  
ついて、名張市長が管理者  
の伊賀南部環境衛生組合の  
副管理者を務める伊賀市長  
が、市長選で受け入れに反  
対を表明している岡本栄氏  
に交代した件について、

「正副管理者が話して対応  
を検討する。県から説明す  
る機会があると思う」と説  
明した。

#### 【震災がれき広域処理】

岩手県久慈市の震災がれき  
の受け入れで、伊賀南部環  
境衛生組合の地元自治会の  
調整を続ける。進展を質問  
した今井智広委員（公明  
党、二期、津市）に対し、  
岡本道和廃棄物対策局長は  
「組合の焼却施設がある青  
山地区の一部自治会に十月  
初め説明し、安全性は理解  
されていると認識してい  
る」と述べる一方、「副管  
理者の伊賀市長が市長選で  
替わったので、正副管理者  
が話して対応を検討する。  
県から説明する機会がある  
かと思う」とした。